

第12回北九州市外郭団体評価会議 開催概要

- 1 開催日時：令和2年1月31日（金） 14時00分～16時00分
- 2 開催場所：北九州市役所本庁舎3階 特別会議室B
- 3 出席者：明石座長、加藤氏、菊池氏、新川氏、能美氏、福地氏
外郭団体所管課及び外郭団体職員
- 4 議 事：令和2年度外郭団体のミッション遂行評価票（活動計画）について
外郭団体との特命随意契約（継続審議）について
- 5 議事要旨

議題1 令和2年度外郭団体のミッション遂行評価票（活動計画）について

(1)福岡北九州高速道路公社

<構成員コメント>

- ・ミッションに関し「利用者の拡大」から「利用促進に努める」と変更したことは、現実的であると言える。
- ・利用者の減少は、人口動態など難しい部分があると思うが、取組みに対して効果が出ているかを、きちんと検証できるようにしておいて欲しい。

<団体等コメント>

- ・引き続き、利用促進に努めてまいりたい。

(2)北九州住宅供給公社

<構成員コメント>

- ・まとまって空き家が見られる地区において、面で空き家対策を行うというアイデアは良いと思う。売却したくても、建築時に比べて各種基準が変わって売りづらくなっているようであり、困っている人は多いのではないかと考える。
- ・建物等のハードは住宅供給公社がプロであると思うが、住む人のマッチングが重要になると思う。民間の知恵の活用や行政との連携など踏まえて、取り組んでほしい。

<団体等コメント>

- ・面的対策を行うにあたっては、市だけではなく、まちづくりの経験がある民間の住宅事業者が必要であるとともに、空き家の所有者や地域との調整などがあることから、住宅供給公社が事務局を担い、総合的に対策を行うことが重要である。
- ・1軒ずつ空き家対策を行うのではなく、複数の空き家を面としてとらえ、地元の意見も聞きながら、その土地の将来像の議論もしながら対策を進めていきたい。

(3) 皿倉登山鉄道株式会社

<団体等コメント>

- ・令和2年度は、夜間運行を強化して、前年に比べて100日程度増の300日程度で行うなど、利用者数の増加に努めていく。

<構成員コメント>

- ・日本新三大夜景都市に選定されたこともあり、非常に追い風が吹いていると思う。閑散期の平準化や他の観光施設との連携等をしながら、北九州市の「ものづくりのまち」をキーワードに、ぜひ集客に結び付くよう取り組んでいただきたい。

(4) ひびき灘開発株式会社

<構成員コメント>

- ・資産の大半が固定資産と販売用不動産となっており、この販売用不動産が売却できないと収益には繋がらない。売却の見込みについて伺いたい。

<団体等コメント>

- ・市の施策である再生可能エネルギーの取組みに対する追い風もあり、販売用土地の問い合わせも増えている。売却だけでなく、建物を整備したうえでの賃貸なども視野に入れて、収益につなげていきたい。

(5) 北九州ウォーターサービス株式会社

<構成員コメント>

- ・安心で安全で綺麗な水を供給するという大事な役割を果たしていると思う。これに加え、今後の人口減少傾向からは、他自治体の中には自前で水道事業を運営できないところも出てくる可能性があるため、そういう所のサポートができるような仕掛けも考えておいて欲しい。

<団体等コメント>

- ・引き続き、市内の上下水道事業の効率的かつ安定的な運営に貢献していきながら、広域事業、海外事業の推進によって自主事業の拡大に努め、収益を確保しながら健全経営を維持していきたい。
- ・広域事業については、当面はコンサルタント業務から入り、将来的には包括受託まで可能性を広げていきたい。

議題2 外郭団体との特命随意契約（継続審議）について

- ・評価会議として、主に業務の妥当性、金額の妥当性を踏まえ、引き続き契約することについて承認とする。